

TOPICS  
3

## トピックス…③

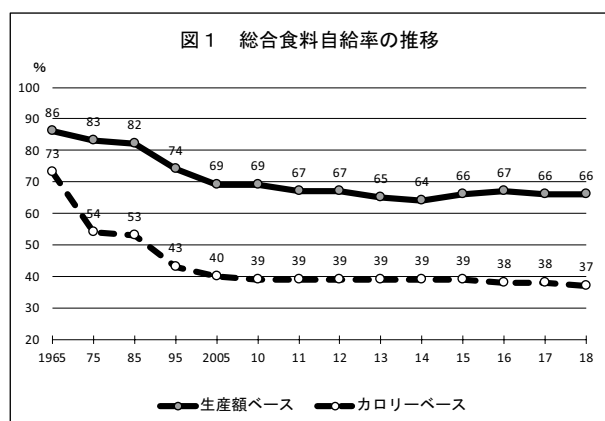
## 2018年度、わが国の食料自給率が過去最低水準に

農林水産省は8月6日、2018年度の総合食料自給率がカロリーベースで37.3%と、冷夏のためコメが大凶作に見舞われた1993年度の37.4%をわずかに下回り、過去最低となったことを明らかにした。その要因として、小麦、大豆等の国内生産量が大幅に減少したことに加え、畜産物も飼料作物の不作により飼料自給率が低下したことを指摘した。

## 1. 総合食料自給率の推移

食料自給率は、国内の食料消費が、国内の食料生産でどの程度賄われるかを示す指標で、食料全体を対象とする総合食料自給率と、コメ、麦、野菜、畜産物など品目別自給率が計算される。また、重量のままの重量ベース自給率、金額に換算した生産額ベース自給率、熱量に換算したカロリーベース自給率が公表される。

2018年度の総合食料自給率は、生産額ベースで過去2番目に低かった前年度と同水準であったが、カロリーベースでは大凶作によりコメを緊急輸入した1993年度をわずかに下回り過去最低となった(図1)。



資料：農林水産省「平成30年度食料自給率・食料自給力指標について」

生産額ベースの自給率が低迷を続ける主な要因は、需要期における野菜(白菜、キャベツ等)の作柄良好による国産物単価の下落、鶏卵の生産増による国産物単価の下落、かんきつ類の輸入量の増加などである。カロリーベースの自給率が低下した主な要因は、主産地である北海道の小麦や大豆等が、天候不順により単収が近年にない低水準とな

り、国内生産が大幅に減少したこと、天候不順による飼料作物の減少に伴う飼料自給率の低下を通じて、国産熱量が減少したこと、国内需要が堅調な牛肉と乳製品の輸入が増加したことなどである。

## 2. 畜産物自給率の低迷

畜産物の自給率を品目別にみると、重量ベースでは鶏卵が96%と最も高く、続いて鶏肉が64%、牛乳乳製品が59%、豚肉が48%、牛肉が最も低く36%となっている。しかし、カロリーベース自給率では、最も高い牛乳乳製品が25%、鶏卵が12%、牛肉が10%、鶏肉が8%、豚肉が6%と、全ての品目で重量ベース自給率を大きく下回っている。

畜産物のカロリーベース自給率は、飼料自給率を反映して計算されており、輸入飼料への依存度が高い部門ほど重量ベース自給率との格差が大きくなる。2018年度の飼料自給率は25%(TDN換算)で、前年度を1ポイント下回っている。したがって、とくに自給率が12%と低い濃厚飼料を多給する養鶏部門(鶏卵・鶏肉)と養豚部門(豚肉)では、重量ベース自給率とカロリーベース自給率との差が大きくなる。他方、酪農部門(牛乳乳製品)と肉牛部門(牛肉)のように、自給率が76%と高い粗飼料を多給する部門では、その差が比較的小さくなっている(表1)。

しかし、中長期的にみると、牛乳乳製品と牛肉の重量ベース自給率、カロリーベース自給率ともに下がり続けている。牛乳乳製品と牛肉は、需要の増加に国内生産が追い付かず、拡大する需給ギャップを補う形で輸入が増加しているからである。食料自給率と同時に公表された「食料需給表」によると、2018年度における牛乳乳製品の国内消費仕向け量は、生乳ベースで12,425千トン、このうち国内生産量が7,282千トン、純輸入量が5,132千トン、在庫放出量が11千トンとなっている。また、牛肉の国内消費仕向け量は1,331千トン、このうち国内生産量が476千トン、純輸入量が881千トン、在庫量が26千トンとなっている。

表1 畜産物の品目別自給率の推移

		単位：%、ポイント								
		1965	75	85	95	2005	15	16	17	18
鶏卵	重量ベース	100	97	98	96	94	96	97	96	96
	カロリーベース	31	13	10	10	11	13	13	12	12
	差	69	84	88	86	83	83	84	84	84
鶏肉	重量ベース	97	97	92	69	67	66	65	64	64
	カロリーベース	30	13	10	7	8	9	9	8	8
	差	67	84	82	62	59	57	56	56	56
豚肉	重量ベース	100	86	86	62	50	51	50	49	48
	カロリーベース	31	12	9	7	6	7	7	6	6
	差	69	74	77	55	44	44	43	43	42
牛乳乳製品	重量ベース	86	81	85	72	68	62	62	60	59
	カロリーベース	63	44	43	32	29	27	27	26	25
	差	23	37	42	40	39	35	35	34	34
牛肉	重量ベース	95	81	72	39	43	40	38	36	36
	カロリーベース	84	43	28	11	12	12	11	10	10
	差	11	38	44	28	31	28	27	26	26

資料：農林水産省「平成30年度食料自給率・食料自給力指標について」

注) 表中の「差」は、「重量ベース自給率」から「カロリーベース自給率」を差し引いた値(ポイント)である。